

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国短期ハイ・イールド債券オープン」は、このたび、第11期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券に実質的に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第11期末(2019年3月25日)

基準価額	10,422円
純資産総額	8,437百万円
第11期	
騰落率	△2.9%
分配金(税引前)合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

米国短期ハイ・イールド債券 オープン

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2018年9月26日～2019年3月25日

交付運用報告書

第11期(決算日 2019年3月25日)

 **岡三アセットマネジメント**
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

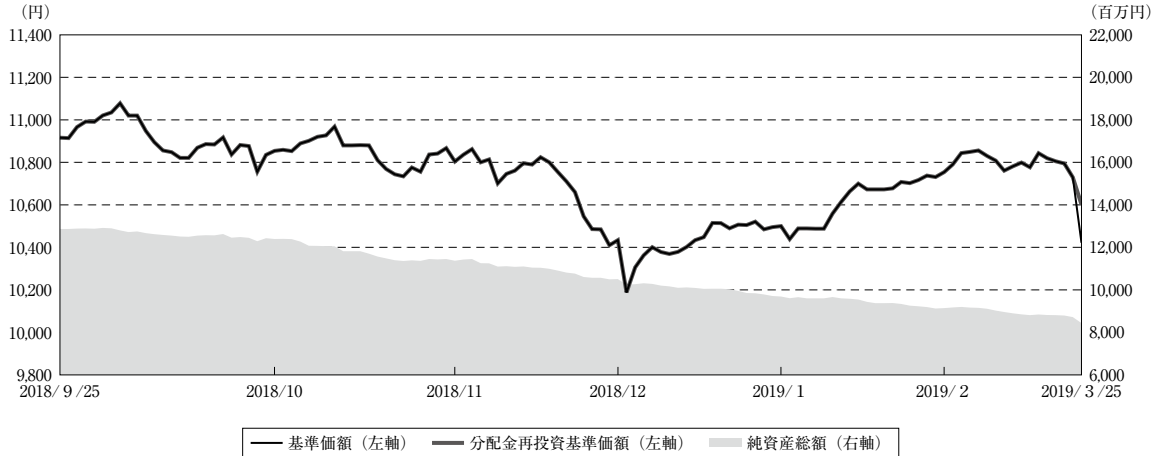
<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年9月26日～2019年3月25日)



期首：10,916円

期末：10,422円（既払分配金（税引前）：180円）

騰落率：△2.9%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2018年9月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○**基準価額の主な変動要因**

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）
 - ・期を通じて安定的な利息収入を獲得できたことなどがプラス要因となりました。
 - ・業種別では、専門小売、サポート・サービス等の銘柄の価格上昇がプラス要因となりました。

- 日本マネー・マザーファンド
 - ・特にありません。

(主なマイナス要因)

- アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）
 - ・業種別では、金属／鉱業（除く鉄鋼）やエネルギー（探査・生産）等の銘柄の価格下落がマイナス要因となりました。
 - ・為替市場において米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

- 日本マネー・マザーファンド
 - ・日銀のマイナス金利政策の影響により、保有債券の利回りがマイナス圏で推移したことが、マイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2018年9月26日～2019年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 71 (29) (40) (2)	% 0.659 (0.268) (0.375) (0.016)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合計	72	0.665	
期中の平均基準価額は、10,723円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

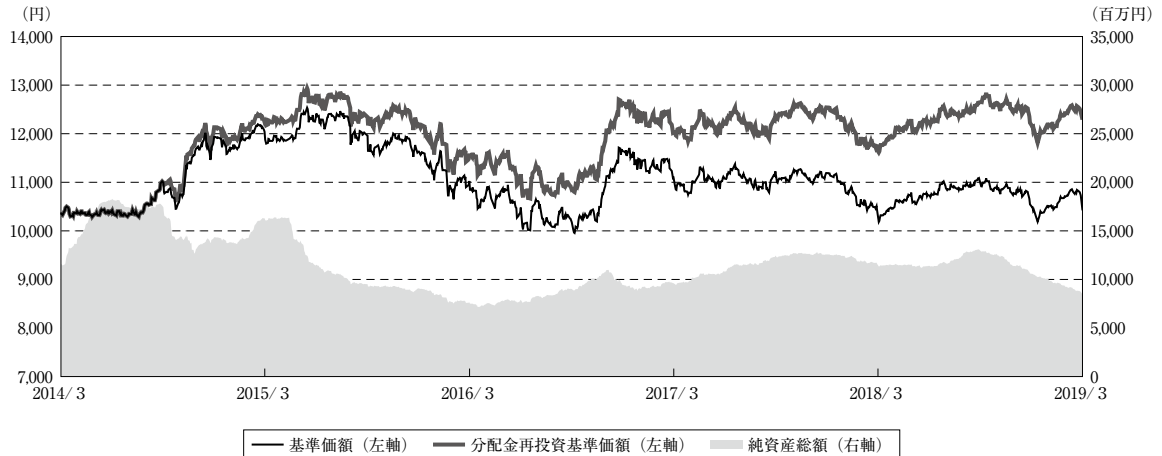
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年3月25日～2019年3月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年3月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年3月25日 期初	2015年3月25日 決算日	2016年3月25日 決算日	2017年3月27日 決算日	2018年3月26日 決算日	2019年3月25日 決算日
基準価額 (円)	10,332	11,875	10,845	10,907	10,183	10,422
期間分配金合計(税引前) (円)	-	360	360	360	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	18.6	△5.7	4.1	△3.4	5.8
ICE BofAML 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Index (円換算後)騰落率 (%)	-	20.0	△3.8	4.3	△2.3	10.2
純資産総額 (百万円)	11,560	16,110	7,506	9,496	11,332	8,437

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。
- (注) ICE BofAML 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Index (円換算後)は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。

投資環境

(2018年9月26日～2019年3月25日)

(米国の短期ハイ・イールド債券市場)

米中貿易摩擦や世界的な景気減速への懸念の高まりに加えて、株価や原油価格の下落を背景に、投資家の「質への逃避」の動きが強まり、2018年12月下旬にかけて短期ハイ・イールド債券利回りが上昇しました。しかしその後は、堅調な株式市場や、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策の正常化に対する慎重な姿勢が示されたことなどから、短期ハイ・イールド債券利回りが低下基調を辿りました。

(為替市場)

軟調な株価動向や、米金利先高観の後退などを背景に、2019年1月初旬にかけて米ドルが対円で下落しました。その後、米中の貿易交渉への進展期待などから、世界的に株価が上昇すると、米ドルが対円で反発しました。

(国内短期金融市場)

日銀によるマイナス金利政策や国債買入れオペが続く中、米金利が低下した影響や、日銀の黒田総裁が追加緩和の可能性に言及したことなどから、1年国債利回りは、マイナス幅が拡大しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年9月26日～2019年3月25日)

<米国短期ハイ・イールド債券オープン>

「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）」、「日本マネー・マザーファンド」の各投資信託証券を主要投資対象とし、「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）」を高位に組み入れて運用を行いました。

○アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）

(債券組入比率)

期を通じて、高位の組入れを維持しました。

(債券種別)

価格変動リスクの低減に重点を置いたポートフォリオを維持しました。格付別では、BB格、B格の銘柄を中心に投資を行いました。業種別配分については、機械や有線通信総合サービスなどの比率を引き上げる一方、無線通信や銀行などの比率を引き下げました。

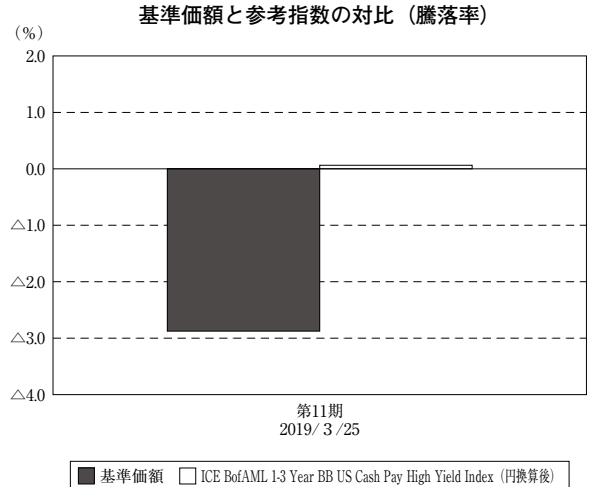
○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期中は、政府保証債を組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年9月26日～2019年3月25日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、ICE BofAML 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Index (円換算後) です。

分配金

(2018年9月26日～2019年3月25日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額としております。当期におきましては、1万口当たり180円 (税引前) の分配を行いました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位: 円、1万口当たり・税引前)

項目	第11期
	2018年9月26日～ 2019年3月25日
当期分配金	180
(対基準価額比率)	1.698%
当期の収益	163
当期の収益以外	16
翌期繰越分配対象額	948

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税引前) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境)

米国の短期ハイ・イールド債券市場につきましては、米国の通商政策や世界的な景気減速に対する懸念が高まり、利回りが上昇する場面も想定されます。しかし、ハイ・イールド債券発行企業のファンダメンタルズは良好であることや、緩和的な金融環境を背景に投資家の高い利回りを選好する動きが予想され、利回りの上昇は一時的と考えます。

為替市場につきましては、FRBが利上げ休止路線を鮮明にしたことから、米ドルが対円で軟調に推移すると予想します。ただ、FRBの緩和姿勢がリスク資産を下支えしていることから、米ドルの対円での下値も限定的と見えています。

国内短期金融市場につきましては、日銀によるマイナス金利政策の継続が見込まれることから、主要な投資対象であるわが国の公社債および短期金融商品の利回りがマイナス圏での推移が続くと予想されます。

(運用方針)

○アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）

米ドル建ての短期ハイ・イールド債券を中心に投資し、価格変動リスクと信用リスクの低減に重点を置きポートフォリオを構築する方針です。

○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行う方針です。

お知らせ

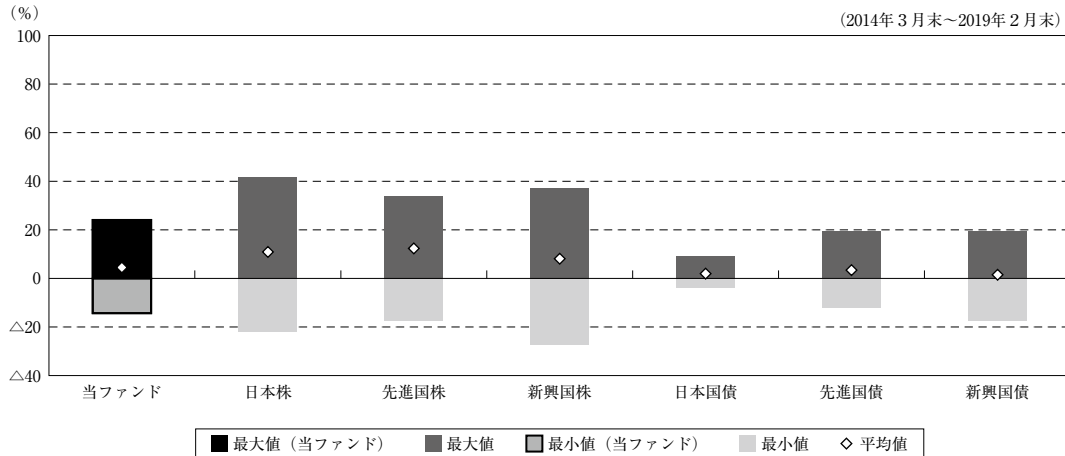
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2013年9月17日から2023年9月25日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主に米国企業の発行する米ドル建ての短期ハイ・イールド債券に実質的に投資を行い、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）および日本マネー・マザーファンドを主要投資対象とします。
	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）	米国企業の発行する米ドル建の短期高利回り社債（償還期限概ね5年以下）およびバンク・ローン（償還期限概ね6年以下）
	日本マネー・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	投資にあたっては、ハイ・イールド債券を中心に投資し、価格変動リスクと信用リスクの低減に重点を置きポートフォリオを構築します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として1年半～2年程度とすることを目標とします。なお、バンク・ローンに投資する場合があります。	
分配方針	毎年3月25日および9月25日（それぞれ休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	24.1	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△14.3	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	4.5	10.9	12.3	8.1	2.0	3.4	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年3月から2019年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、2014年9月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・デリバティブ (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年3月25日現在)

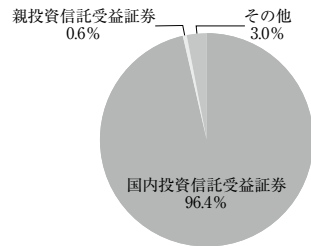
○組入上位ファンド

銘柄名	第11期末 %
アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス(ヘッジなし)	96.4
日本マネー・マザーファンド	0.6
組入銘柄数	2銘柄

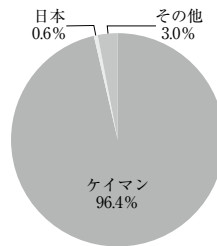
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

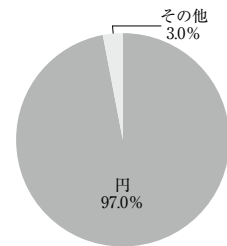
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

純資産等

項目	第11期末
	2019年3月25日
純資産総額	8,437,724,918円
受益権総口数	8,096,012,214口
1万口当たり基準価額	10,422円

(注) 期中における追加設定元本額は1,041,063,448円、同解約元本額は4,733,237,264円です。

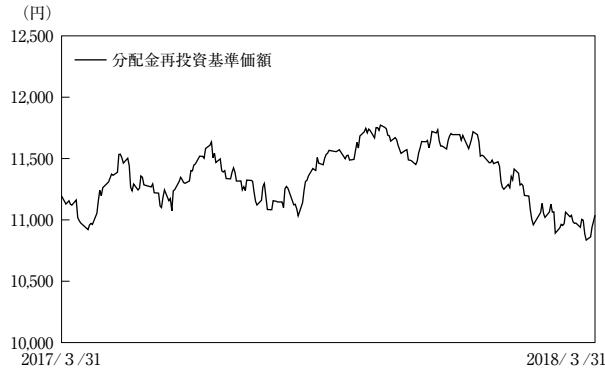
組入上位ファンドの概要

アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンド円建てシェア・クラス（ヘッジなし）

※アリアンツ・グローバル・インベスターズのデータを基に、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移】

【1万口当たりの費用明細】



(2017年4月1日～2018年3月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がないため、開示できません。

以下は、アリアンツ・グローバル・インベスターズ・トラスト・アリアンツ・ショート・デュレーション・ハイ・イールド・ファンドの状況です。

【組入上位10銘柄】

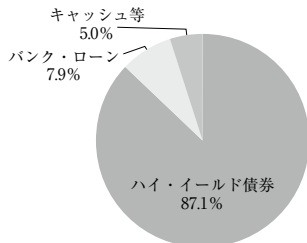
(2018年3月31日現在)

	銘柄名	業種/種別	通貨	発行国	比率 %
1	APX GROUP INC (REG) 7.875% 01/12/2022	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	3.2
2	PETSMART INC TERM B TERM LOAN USD- LIBOR-BBA 3M +300BPS 11/03/2022	(バンク・ローン)	米ドル	米国	3.2
3	REALOGY GROUP/CO-ISSUER (REG) (SER 144A) 5.25% 01/12/2021	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	3.0
4	MICHAELS STORES INC SER 144A (REG) 5.875% 15/12/2020	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.7
5	PARTY CITY HOLDINGS INC (REG) SER 144A 6.125% 15/08/2023	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.6
6	ASURION LLC TERM B6 TERM LOAN USD-LIBOR-BBA 3M+275BPS 03/11/2023	(バンク・ローン)	米ドル	米国	2.6
7	CLEAN HARBORS INC (REG) 5.125% 01/06/2021	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.6
8	DISH DBS CORP (REG) 5.125% 01/05/2020	(ハイ・イールド債)	米ドル	米国	2.6
9	NIELSEN CO LUX SARL SER 144A (REG) 5.5% 01/10/2021	(ハイ・イールド債)	米ドル	ルクセンブルク	2.5
10	TAYLOR MORRISON COMM/MON (144 A) 5.25% 15/04/2021	(ハイ・イールド債)	米ドル	複数国	2.4
	組入銘柄数			87銘柄	

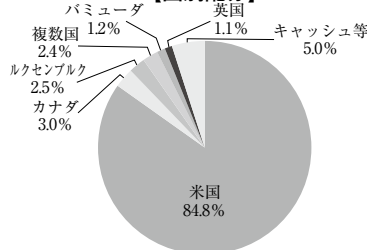
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

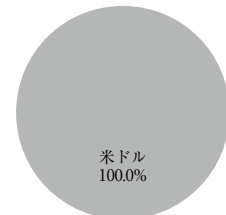
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



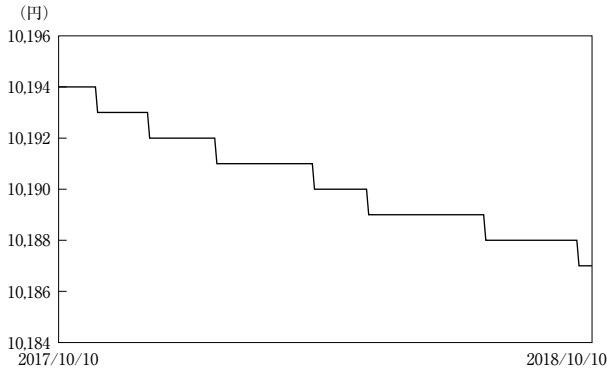
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては、発行国を表示しております。

組入上位ファンドの概要

日本マネー・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年10月11日～2018年10月10日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 (その他)	0 (0)	0.001 (0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は、10,190円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

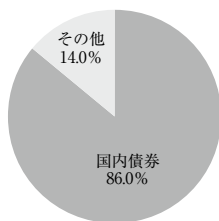
【組入上位10銘柄】

(2018年10月10日現在)

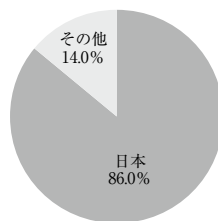
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第67回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	特殊債券	円	日本	36.3%
2 第7回政府保証地方公営企業等金融機構債券	特殊債券	円	日本	22.8%
3 第27回政府保証日本政策金融公庫債券	特殊債券	円	日本	12.9%
4 第2回政府保証地方公共団体金融機構債券	特殊債券	円	日本	6.5%
5 第2回政府保証株式会社日本政策投資銀行社債	特殊債券	円	日本	6.4%
6 第6回政府保証地方公営企業等金融機構債券	特殊債券	円	日本	1.2%
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-
組入銘柄数			6銘柄	

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

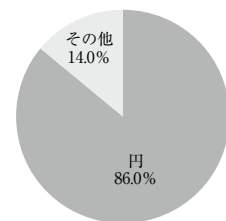
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。
 (注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書(全体版)をご覧ください。

＜当ファンドの参考指数について＞

ICE BofAML 1-3 Year BB US Cash Pay High Yield Indexは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社（「ICE Data」）及び／又はその第三者サプライヤーの財産であり、岡三アセットマネジメント株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。